

ボランティアだより岸和田

地域のイベント・ボランティア情報が満載



ポパポ
岸和田市協
イメージ
キャラクター

発行所

岸和田市ボランティア
センター
〒596-0076
岸和田市野田町 1-5-5
opsol 福祉総合センター 2階
☎ 072(430)3366
FAX 072(431)1500
e-mail
vc@Kishiwadashisyakyo.
onmicrosoft.com

編集

ボランティア情報紙編集委員会

ボランティア連絡会総会

第25回岸和田市ボランティア連絡会の総会が6月7日(土)に開催されました。

第1部では、昨年度の事業報告・決算および今年度の事業計画・予算について、ともに承認されました。

第2部交流会はタウンミーティング

第2部ではタウンミーティングを行いました。活動対象により、高齢者、障がい者、児童その他の3つの分野に分かれて、話し合いました。

活動紹介から始まりますが、新規加入のグループにとっては、グループ立ち上げの思いや活動内容を知ってもらいたい機会です。

高齢化や次世代の育て方など、共通の悩みもあります。困りごとのヒントがもらえます。そして何より、それぞれ独自性のある各グループの活動を深く知ることができます。



市長と意見交換

佐野市長を交えて

就任間もない佐野市長が3つのテーブルを順に回り、時間をかけて話し合いに加わってくださいました。活動をしていると様々な問題に直面します。その課題の解決にも思いがたります。

出された意見

- ・子ども食堂、保護猫など市役所の複数の課と関わる活動があります。担当課はそれぞれでも連携できていれば、窓口は一つで済みます。
- ・ボランティア活動については、市のHPを活かした広報とか、市と市民活動団体が連携できる仕組みづくりが必要でしょう。
- ・手話言語条例はできているが、市も市民もまだまだ対応が不十分です。

自分たちの活動や意見を市長に聞いてもらえる機会はめったにありません。参加者の熱い気持ちがあふれ、話が盛り上がりました。貴重な時間でした。



参加者全員で集合写真

(編集委員 川口)

🔴マークがついている事業は赤い羽根共同募金を活用しています。

第3回ボランティアフェスティバル 盛大に開催

8月23日に第3回ボランティアフェスティバルが福祉総合センターのアリーナで開催されました。

オープニングは、久米田高校太鼓部の迫力ある演奏でした。高校生の力強い演奏に参加者も圧倒されていました。

そのあと佐野岸和田市長からのメッセージを岸和田市自治振興課松田課長に代読いただき、スタートしました。

楽器演奏や踊りなど6団体の舞台発表と活動の様子がわかる展示や体験コーナーなど20団体のブースがあり、ボランティア市民活動の実践者や参加者など合計150人の参加がありました。

今回は特に多くの若いボランティアの方々にもサポートしてもらい、前回以上に活気あるフェスティバルとなりました。

ボランティア市民活動のことや地域で取り組まれていることを知りたい方々など、これまで地域の活動に関わることがなかったけど関心がある方も多く参加され、新たな地域の担い手が生まれることを期待せずにはいられません。また、ボランティア団体同士の交流にもなり、新たな連携が生まれそうです。

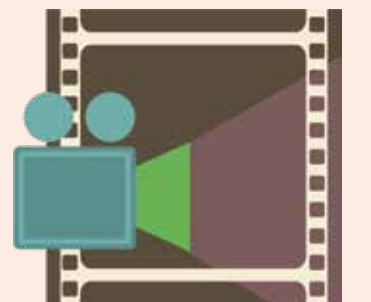
今後もボランティア市民活動が盛り上がっていきけるよう、多くの市民と連携してふだんのくらしを幸せにできるような街にしていきたいと思います。



『映画上映会&プレパーク in 岸和田』

地域でこどもを育てるってどういうこと？

大阪市西成区を舞台に、こどもと地域の関係性を描いたドキュメンタリー映画「さとに來たらええやん」を上映します。また、プレパークも同時開催！その価値や必要性を体感していただき、「遊ぶ権利」がいかに大切かを改めて見直すことができるイベントです。その他午前の部では、岸和田市内で活動する市民団体の活動PRコーナーの開設や、午後の部では、映画のモデルになっている“認定NPO法人こどもの里”の理事長荘保さんをお招きしたトークイベントも開催されます。



問合せ先 NPO法人ここからKit TEL:072-477-4776



申込フォーム

編集後記

今号2・3面の特集で市民活動団体と地元企業の支援を取り上げました。数久ガス様には以前からフードバンクの拠点を提供いただいております。最近「企業市民」という経済用語を知りました。企業は利益を追求する以前に良き市民であるべきという概念のようです。地域に貢献したいけど、どうやったらいいかわからない企業の皆様、ぜひお声掛けください。

「企業市民」が増えるようお手伝いします。

(事務局 藤澤)

【ボランティアセンターは日・祝はお休みとなっております。】

4面記事に関するお問合せは社協(地域福祉係) 430-3366またはメールvc@Kishiwadashisyakyo.onmicrosoft.comまで

フリースクールと企業がつながる



「えっ! 何があったの?」と思われるような
なぜこのつながりができたのか知りたく
地域の企業「藪久ガス」を訪問しインタ

な標題ですが、紹介したいと思います。
て、8月にフリースクール「ココまな」と、
ビューしてきました。



フリースクール「ココまな」

ココまなは2021年から、市内八幡町において学べる居場所として活動しています。現在は小学生3名、中学生2名が通っています。不登校で学校には行けなくても学べる場を求めています。しかし、フリースクールには公的な支援がないので、家庭の授業料等の負担が必要になります。少しでも保護者の経済的負担が減るように現在マンスリーサポーターの募集をしています。いわゆるクラウドファンディングで毎月500円からの寄付してくださる方、つまり地域の応援団を探しています。小さな協力が困っている子どもたちを助けます。

そんな時期に、岸和田市社会福祉協議会（以下、社協という）が、社会的貢献をしたい企業と困っているところをつなぎました。

代表の土居さんはこう言います。

「ココまなを支援することによって、子どもへ間接的に支援をいただくことになります。今回、藪久ガスさんから支援をいただけるのはとてもありがたいです。また、寄付だけでなく、地域で活動しているのを温かく見守っていただきたい。」



ウォーターサーバー



(左) 尾崎編集委員 (右) ココまな 土居代表



ココまなのマンスリー
サポーター募集



※ココまなの活動について、
社協YouTubeチャンネル
をご覧ください。

地域に貢献したい企業の思い

藪久ガスさんは地域で創業百年を超す企業です。薪や練炭を提供していた時代からの会社です。地域でお世話になっているので「何か支援できるところがないだろうか」、「どこへ支援したらよいのだろうか」と悩まれていました。できれば未来につながる子どもたちに、単発でなく、少しずつでも継続的に支援したいと考えておられました。2020年頃コロナ流行の真っ最中に、テレビ岸和田から社協がフードバンクの拠点を探しているとの話を聞き、会社の空いている場所を提供することになったそうです。地域で子ども食堂がどんどん増えていった時期です。そこから会社と社協とのつながりができ、そして、困っているココまなとつながっていきました。

ココまなへ活動資金の寄付とウォーターサーバーの無償提供が始まりました。

(編集委員 尾崎)



藪久ガス本社



(左) 藪久ガス 平田様 (右) 尾崎編集委員



藪久ガス
ホームページ



藪久ガス
Instagram